

ば・あ・や・の・う・け・う・り

「防災訓練」

9月1日田村町の防災訓練が、栃山神小学校で行われ、全校生徒が参加しました。雨天のため体育館で、始まるの待っていたら突然スマホから聞きなれない音が。 なになに？ 9時市内一斉…「郡山市緊急速報メール」でした。今は、訓練も、携帯電話から始まるのですね。

生徒が体育館に避難…6年生4名と、先生1名が逃げ遅れて、救助を待っている。広域消防の隊員さん達が救助開始。大きな声で、安全確認しながらの素早い動き、大きな声で、救助を待っている人への声かけ、避難梯子を下りる生徒を、一段ずつ安全に誘導。ケガの先生(人形)を、宙づりで救助する時は、2階の二人の隊員さんが、ゆっくりと梯子を柵から離し…梯子はそのまま垂直に。梯子を2階でささえているのは…二人の腕だけ。片側だけ、人形の数十キロの重さがかかっているのに…梯子は静止したまま…すごい…。余震や強風のときは？と、ちょっと思いましたが、厳しい訓練を続けているのですね。頑張っている隊員さん達への、大きな拍手が体育館にひびきました。

「お米売ってますか？」と電話が。時間からして困っているのかなと感じ、売ってないですけど、うちの米でよければどうぞ…。

「道の駅で買えばいいと思っていたら売りきれちゃってて。 なんだかお隣にも言いにくいし…すみません」と、とても恐縮されて…。 そんなことはないですよ。 どうぞ…と10カップのお米を。

後で返していただいたお米を、6カップ炊いた。 次の日も6カップ炊いた。あれ？…2カップ多かった。 とたんに、おもしろい昭和の時代へ。

店も物も少ない頃、こまった時お互いに、「ちょっと貸して…」返す時は、ちょっと多めにして、「ありがとう」の気持ちを形に。 なんだか…お隣さんどうしのよう、K子さんありがとうございました。

暑さに弱い私には、とろけそうな夏でした
そんな私に、気合いをいれてくれた曲…Xジャパンの
「ラスティ・ネイル」

どれだけ涙をながせば
あなたをわすれられるだろう(中略)
くるしくて心をかざった今も
あなたをわすれられなくて

ヨシキさんが、お父さんへの思いを込めて作ったとも…。 スマホをポケットに入れて、聞きながら店にいたら、息子のようなお客さまが、びっくりしたようで、「これを聞いてんですか…」と。 ごめんなさいね…こんなバアさんのくせに。「いいですよ、いい曲ですから…」 ありがとう… Xジャパンの曲は、私の心の上昇気流。



鏡池と槍穂高連峰

撮影・大輔

d